



〈鶴ヶ島市立藤中学校だより 第12号〉

学校教育目標

ともに学び、未来を拓くたくましい生徒の育成

藤中だより

保護者・地域に信頼される学校を目指して

〈目指す生徒像〉

- よく考え工夫して学ぶ生徒(知)
- 人と自分を大切にする生徒(徳)
- 心と体を粘り強く鍛える生徒(体)

令和7年2月1日 校長 竹田 聡

〈本年度も残り2ヶ月〉

日頃より本校の教育活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。また、本日の学校公開に、ご多用のところお越しいただき、ありがとうございました。

本年度も残り2ヶ月となりました。3年生は進路決定、2年生は修学旅行の成果を生かして、1年生は校外学習に向けて取り組んでいます。学年のまとめは4月からのよいスタートにつながります。よりよいまとめとなるように、ご家庭でも目標と成果、方策等の確認をよろしくお願いします。

〈学校の安全について〉

1月14日(火)に、「学校安全総合支援事業」埼玉県成果発表会に参加しました。この事業は、「児童生徒を取り巻く多様な危険を的確に捉え、児童生徒の発達段階や学校段階、地域特性に応じた取組を全ての学校種において推進する必要性があること」を踏まえ、家庭・地域との連携・協働をはじめ、学校安全の推進に関し、地域間・学校間・教職員間の差をなくし、全ての学校において継続的に、質の高い学校安全の取組を推進することを目指しています。本年度は、戸田市・吉川市・鶴ヶ島市の3市が指定を受けています。鶴ヶ島市は、藤小・中学校が研究指定を受け、「防災」をテーマに取り組みました。

鶴ヶ島市は、山や大きな河川がなく、災害リスクが比較的少なく、「液状化マップ」の危険度も極めて低い地域です。

以前勤務していた学校は、雷が電柱のトランスに落ちて停電となり、復旧に10時間くらいかかったことがありました。停電になると校内の送水ポンプも停止し、水が使えなくなりました。そのような経験もあり、藤中学校では停電を想定した訓練を行いました。

実際に大規模な停電が発生したら、どうなるのでしょうか。2018年9月6日に発生した北海道胆振東部地震に、私の息子がたまたま札幌にいて、ブラックアウトを経験し、次のように話していました。

コンビニをはじめほとんどの食料品店は、レジが使えないため、何も買えない。唯一、セイコーマートだけが車の電源で営業していた。でも、食料品はすぐに売り切れてしまった。ホテルは、エレベーターもトイレも使えない。スマホは、ノートパソコンから充電して何とかしのげた…

今の生活は、電気によって支えられています。鉄道が止まった場合も想定して、ご家庭でも備えをお願いします。

〈他市の防災の取組〉

戸田市：不審者対応

戸田市は、令和4年3月に中学校へ不審者が侵入し、教員が大けがをする事件が発生しました。この事件を踏まえ、大阪教育大学附属池田小学校の取組を参考に、再発防止に向けた実践の発表がありました。

本校でも、西入間警察署から指導者を招き、不審者対応の研修をしています。刺股の使い方や掴まれたときの逃げ方、刃物をもった不審者対応の指導を受けました。そこでは、不審者が徐々に興奮し、刃物を出すパターンだったので、近頃はいきなり切りつけられ、殺傷される事件が発生しています。何の前触れもなく襲われるケースに対して、対処法を家庭・地域と考える必要があると思います。交通事故も含め日頃から危機意識を持つことで、リスクが軽減されます。例えば、ながらスマホをしたり、ヘッドホンして外部の音が聞こえなかったりすると、危険への対応が遅れることを理解して、使うことです。ご家庭でも、日頃からの注意喚起をお願いします。

吉川市：水害対策

吉川市は、江戸川と中川に挟まれているため、河川の氾濫による水害対策の発表がありました。主に、小学校は増水した河川や用水路の危険性について、中学校では災害避難所の設営など、発災後の対応を学んでいました。

土砂を含んだ流水は、侵食作用が大きいため飲み込まれると一気に下流まで流され、命を落とす危険があります。藤中の近くでは、校地の南を流れる大谷川が増水することもあり、増水時の夜間通行はとても危険です。

昨年11月29日に、鶴ヶ島市危機管理課から指導者を招き、災害対策や避難所設営について、全校生徒へお話をいただきました。これからも適宜、連携を図ってまいります。

<新入生保護者説明会>

1月21日(火)に、新入生保護者説明会を行い、学校生活に向けて説明を行いました。

私からは、大きく分けて「中学校について」と「入学までのお願い」を話しました。

1 中学校について

(1)「小学校」と「中学校」の違い

「小学校は家庭の延長にあり、中学校の延長には社会がある」と整理して考えてください。中学校を卒業すると働くことができますので、一緒に働きたい人を目標に協力してください。具体的には、挨拶や時間を守る、自分の気持ちを伝えるなど、仕事でも大切なことを身に付けるように、協力をお願いします。

(2)「子ども」と「大人」の違い

事後に原因を探るのが「子ども」、事前に未然に防ごうとするのが「大人」だと考えてください。法律では18才で成人です。近年、初期対応のミスに厳しい傾向があります。トラブルの未然防止に向けて、「そもそも最初の問題は何か」を考えて、ご協力ください。

(3)どんな大人になってほしいのか

3年後の進路選択は通過点です。将来、経済的、社会的に自立して、社会で活躍できるように支援、応援することが大切です。何事も最初から成功することはまずありません。うまくいかないことや失敗を糧にして、粘り強く成功するまで、応援してください。

(4)社会性を育む

藤中は、縦割りの行事や部活動など、異学年との関わりを通して成長する活動が多くあります。自分と異なる立場や考えの人と接し方を学ぶ貴重な機会ととらえ、ご協力ください。

2 入学までのお願い

(1)入学を切り替えのチャンスに

藤中は、3つの小学校から入学してきます。2/3は知らない生徒ですから、自分を変えるチャンスです。そのためには、小学校のことは小学校のうちに解決し、中学校に持ち込まないようにしてください。

(2)ネットトラブルの未然防止を

近年、スマホアプリやネットゲームでのトラブルが増加傾向にあります。安易な書込、動画のアップでトラブルに巻き込まれないように、スマホを持たせる前、中学校の入学前に、約束を決めてください。

(3)疑問が不信に変わる前に

入学までの間に、色々な疑問があると思います。聞いてよいのか迷うこともあると思いますが、聞いていただくことで、中学校の資料もアップデートされます。噂やネット情報に頼らず、疑問から不信になる前に、遠慮なくお問い合わせください。

全体説明の後、いくつか質問がありました。なお、来年度の行事については、大会の予定等が確定後、市内で確認・調整し決定します。

保護者の皆様におかれましては、入学等に関する相談がありましたら、中学校生活が円滑にスタートするように、ご助言をお願いします。

<2年生修学旅行>

1月23日(木)～25日(土)に、2年生が修学旅行で奈良・京都へ行きました。初日の朝、東京駅での出発式で、私から次の話をしました。



今日は「和」について話します。「和」は、2年生の学年通信の最初にも書かれています。

まず、和やかで楽しい修学旅行にすること。みんなで楽しめることを考えて行動しましょう。

次に、日本の文化である「和」を古都の奈良・京都で学ぶこと。海外の方も注目している日本のよさ、「和」を体験しましょう。

最後に、数学の足し算の答えの「和」。みんなの力を合わせて、修学旅行を成功させましょう。

今年は、晴天が続き、交通機関の遅延もありませんでした。2日目は、3月並みの気温で、防寒着を着て歩くと、汗ばむような陽気でした。

修学旅行を終えて、皆さんの成果があり、2年生が着実に成長していることがよく分かりました。藤中の最上級生に向けて、これからの成長を期待しています。



<樹木選定・伐採>

1月23, 24日に体育館北側の樹木伐採を行い、交差点の見通しがとてもよくなりました。また、体育館前と校庭南側フェンスの樹木も剪定されました。

視界が確保され、強風時の倒木の心配がなくなり、安全性が高まりました。

